

幡多信用金庫と地域社会

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、高知県一円を事業区域として、地元の中小企業者や住民の方々が会員となって、お互いに助け合い、発展して行くことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とする皆様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面においても地域社会の活性化に積極的に取組んでおります。

お客さま / 会員

会員数 9,845人・出資金残高【200百万円】

1. 預金積金に関する事項 (地域からの資金調達状況)

当金庫は、地域の皆さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向け努力しております。

当金庫の特徴的な商品として「年金定期」や「投資信託セット型金利優遇定期預金」等の商品をご提供しております。

預金積金残高【158,933百万円】

預金積金

出資金

3. 貸出金以外の運用に関する事項

預金積金は原則として貸出金で運用することとされていますが、資金需要が低調であった場合には預け金と有価証券で運用しています。有価証券の運用にあたっては、高格付け債を中心とした債券を購入する等、安全性第一を念頭に、長期化する市場金利の超低水準の中で、より効率的な運用を心掛けています。

余資運用残高【90,565百万円】

幡多信用金庫

6. 体制について (常勤役員職員数：166人、店舗数：14店舗)

2. 貸出金（運用）に関する事項 (地域への資金供給状況)

皆様からお預りした預金積金については、皆様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に役立てるために、円滑な資金供給を行う形でお客さまや地域社会に還元しており、営業区域内の中小企業等に対し、設備資金に41,377百万円、運転資金に46,294百万円をご融資しております。そのうち、個人のお客さまには住宅関連資金に17,531百万円、その他消費資金関連に8,288百万円をご融資しております。

貸出金残高【87,672百万円】

預金積金に占める貸出金の割合【55.16%】

貸出金

支援サービス

4. 今期決算に関する事項

景気回復の地元経済への波及スピードは鈍く、超低水準の市場金利の長期化が予想され、貸出金を中心とした資金運用が難しくなっている環境下において、より一層の経営の合理化・効率化に取組み、488百万円のコア業務純益となりました。

今後とも堅実経営を基本に「安心と信頼」のさらなる向上に努めて参ります。

5. 取引先への支援等（地域との繋がり）

当金庫は、平成15年7月に企業再生支援室（現経営支援課）を設置し、取引先の支援に積極的に取組んでおり、2020年度は31先（うち2020年度の高知県中小企業再生支援協議会等、外部専門機関への持込等の活用は0先）に対し経営改善のお手伝いをさせていただきました。P14参照

また、中小零細企業支援等のために相互の連携を強化し、地域経済の発展に寄与することを目的として、四国税理士会高知県支部連合会との業務協力等に関する締結を平成27年9月に締結したこと等により、企業の経営改善や相談業務（ビジネスマッチング等）にお応えしております。

お客さま（会員）

7. 文化的・社会的貢献に関する事項

(頁10～頁13に掲載)

2021年3月末現在